



## NO. 2638 回 社会公益賞・キワニス文庫贈呈式

日 時 : 令和6年7月19日(金)  
場 所 : マリオットアソシアホテル 16階 アイリス  
出席者 : 61名  
一日議長 : 紀村会長  
ハッピーボックス : 21,000円

### ☆今週のお誕生

お誕生日の方はどなたもいらっしやいません。

## I. 第55回社会公益賞・第50回キワニス文庫贈呈式

### 1. 会長挨拶 紀村会長

本日、第55回キワニス社会公益賞及び第50回キワニス文庫の贈呈式にあたり、名古屋キワニスクラブを代表して一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、本日の贈呈式には、それぞれの受賞団体を代表されまして、4名の代表の方々にご臨席いただいております。

- ・特定非営利活動法人 愛知こどもホスピスプロジェクト  
代表理事 畑中 めぐみ様
- ・独立行政法人 地域医療機能推進機構  
中京病院 病院長 後藤 百万様
- ・名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院  
病院長 葛谷 雅文様
- ・どんぐり文庫 主宰 古川 よし子様

には大変お忙しい中ご臨席賜り、心よりお礼申し上げます。

本日贈呈いたします「キワニス社会公益賞」と「キワニス文庫」は、将来を担う子どもたちへの奉仕活動を行っており、私共「名古屋キワニスクラブ」にとりまして、最も重要な活動となっております。

「キワニス社会公益賞」は、社会公益のために、長年に亘って献身的努力を続けてこられた方々の、その功績に敬意を表すとともに、その存在を世の人々に広く知っていただくという趣旨のもと、1968年からお贈りしているもので、今年で55回目を迎えました。

また「キワニス文庫」につきましては「子どもたちの活字離れを憂い、将来、本が大好きな子どもたちに育ててほしい」との願いを込めて1975年から毎年子どもたちに本を贈っているもので、今年で50回目を迎えました。

本年度の「キワニス社会公益賞」につきましては、特定非営利活動法人 愛知こどもホスピスプロジェクトにお贈りすることとしました。また、「キワニス文庫」につきましては、独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院、名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院、どんぐり文庫に贈呈させていただくこととしました。

その選考理由と選考過程につきましては、この後、入谷文化公益委員長からご報告いただきます。なお、今回、惜しくも選に漏れたものの、本日受賞された皆様のほかにも、子ども

No.2639 令和6年7月26日(金)  
株式会社おとうふ工房いしかわ  
代表取締役 石川 伸氏  
「たかが豆腐されど豆腐」

No.2640 令和6年8月2日(金)  
日本ガイシ株式会社  
常任顧問 蟹江 浩嗣 会員  
「夏休みの昆虫観察」

No.2641 令和6年8月9日(金)  
日本放送協会 コンテンツ戦略局  
局長 伯野 卓彦氏  
「プロジェクトX 開発の舞台裏」  
**※この日は開催時刻が変更となっております。**  
**12時15分～13時45分**

\*\*\*\*\*  
8月16日(金)は  
お盆休みのため休会です。  
\*\*\*\*\*

No.2642 令和6年8月23日(金)  
石川司法書士・行政書士事務所  
司法書士・行政書士  
石川登三男(石亭いんこ)氏  
「司法書士落語家による相続遺言落語  
『はしぶくろ』」

No.2643 令和6年8月30日(金)  
18:00～20:00  
チャーターナイト記念特別例会【夜間】  
**※当日は昼間の例会はございません。**

たちのため、社会のために、献身的な奉仕活動をされている団体が多数ございました。これらの方々に対しましても、深甚なる敬意を表すものであります。

「名古屋キワニスクラブ」の歴史は、1966年の創立以来半世紀を超え、2026年には60周年を迎えます。この間我が国の経済、社会は大きく変容しましたが、子どもたちを取り巻く環境も複雑化し諸問題の困難がますます顕著になってきております。我が国全体としては、2022年の「こども基本法」の制定を契機に、「こども家庭庁」の創設や「こども大綱」の制定、2024年5月の「こどもまんなか実行計画」の策定など、こども関連施策の抜本的充実や加速が図られてきています。児童虐待やいじめ、子どもの貧困等々、日々報道される悲惨なニュースを聴くたびに当クラブといたしましても、従来にも増して、きめ細かく、奉仕活動を充実していかなければならない。そう痛感しております。改めまして皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の贈呈にあたり、ご尽力いただきました名古屋キワニスクラブ文化公益委員会、広報委員会の皆様や地方公共団体をはじめ多くの関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。

以上

## 2. 選考経過報告

入谷文化公益委員長

文化公益委員会の委員長の入谷でございます。選考経過及び選考理由について簡単に述べさせていただきます。

社会公益賞ならびにキワニス文庫の贈呈候補先につきましては、本年度も従来と同様に、会員の推薦、愛知県・名古屋市など行政機関の情報を参考にして、5回にわたり委員会を開催して贈呈候補先を検討してまいりました。社会公益賞については、前年度からの持越し分を加えた候補先8団体（内今年度新規推薦分4件）を対象にして活動内容、活動期間、財政状況などの観点から文化公益委員会の各委員が評価し、その結果から贈呈候補先を絞り込み、例会講師に招き講演を聞いて、活動実態を確認してから最終決定することとしました。

また、キワニス文庫の候補先は4件ありましたが、施設や利用の状況、財政状況、地域等を勘案して選考しました。とりわけ贈呈候補先については病棟のプレイルームや書棚等の写真を送っていただき、施設の状況や図書整備状況を把握してまいりました。

その結果、文化公益委員会として社会公益賞1団体、キワニス文庫3団体を推薦し、役員会で正式決定していただいた次第です。

続きまして贈呈先の概要を説明させていただきます。詳細につきましては、お手元の資料を併せてご覧頂ければと思います。

社会公益賞の贈呈先は、特定非営利活動法人 愛知こどもホスピスプロジェクト様でございます。本法人は、「存分に生きるを、一緒に。」を理念として、2023年4月28日に設立されました。こどもホスピスは生命を脅かす病気や障がいのある子どもとそのご家族が第2のわが家として、終末期だけではなく発病時から存分に楽しい時間を過ごすことのできる場所です。イギリスをはじめ海外では、こどもホスピスは地域ごとに設立されるなど広がりを見せています。日本でも、すでに大阪や横浜などで運営されており、その他の地域でも設立に向けた取り組みが始まっています。この地域ではまだ「こどもホスピス」の設立に至っていませんが、本法人は地域や医療や教育、福祉など様々な機関と連携し、設立、運営を目指し活動する一方、こどもホスピスと小児緩和ケアの普及活動と人材育成も実践しています。本法人は、設立間もないものの、その取り組みを高く評価し、活動を支援することは、社会貢献として意義があると考え、社会公益賞を贈呈致します。

次に、キワニス文庫でございますが、贈呈先は3団体でございます。

最初は、独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 小児科様でございます。中京病院は昭和22年に厚生省により健康保険の福祉施設として、被保険者の疾病治療と健康管

理を行い、社会保険診療を模範的に実施する目的のもとに開設された病院で、平成 26 年 4 月からは独立行政法人 地域医療機能推進機構のもとで今日に至っています。「私たちは患者さんの心に寄り添い、安全で質の高い医療を提供します」を理念として掲げています。

小児科は名古屋市南部を中心とした地域の基幹病院の役割を担うべく小児疾患全般に加えて、専門性の高い医療を提供しています。入院が長期となることがあるので、院内学級（小学部、中学部）を併設しています。また、専属の保育士 1 名を配置し、入院している子どもに遊びや楽しみを提供し、季節ごとに各種の行事（ひな祭り、七夕会、クリスマス会など）を開催しています。更に病棟内にはプレイルームを設置し、入院中の子どもが付き添いの家族と一緒に遊んだり本を読んだりして過ごすことができ、このような環境が情操・学習面はもちろん、ストレスを緩和し安定して治療に取り組む上で重要な役割を担っています。現在、図書の実態が必要な状態ですが、病院としては図書に割く予算が不足しています。以上のことから図書充実の必要性、有効性は高く、運営体制も十分に認められるので、キワニス文庫を贈呈致します。

キワニス文庫贈呈先の二つ目は、名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院 小児科様でございます。名鉄病院は、昭和 31 年名古屋鉄道健康保険組合のもとで開設された病院で現在、名古屋市西区唯一の急性期病院として「医療倫理を守り良質な医療を提供いたします」を理念とし掲げ、「人に寄りそう 命と向き合う」を合言葉に地域医療に貢献しています。小児科に関しては、新生児期から思春期までの小児疾患全般に対応しており、外来診療では 2 つの診察室を活用して、救急搬送にも迅速対応しています。病棟では保育士が楽しいイベントを企画して、子どもたちの QOL をサポートしています。小中学生で長期入院が見込まれる場合には、大府養護学校教諭による出張授業を受けることができ、入院中も勉強の遅れを気にすることなく治療に専念できる体制を整えています。また、病棟内にはプレイルームを設置し、入院中の患児が付き添いの家族と一緒に遊んだり本を読んだりして過ごすことができ環境が整っていますが、図書の充実が必要な状態です。中京病院様と同様な理由から、名鉄病院様にもキワニス文庫を贈呈致します。

キワニス文庫贈呈先の三つ目は、「どんぐり文庫」主宰の古川 よし子様でございます。「どんぐり文庫」は平成 4 年に、地域の子どもの文化の向上、子どもが安心していられる場所の提供、お母さんたちが安心していられるコミュニケーションの場所の提供などを目的として個人の住宅内に開設された家庭文庫です。主宰の古川よし子さんは国語教師だった父親の影響で、幼いころから本に囲まれて育ち、多くのことを学んだ経験を持っています。このことから、本を通じて子どもたちに読む力を付けさせ、生きる力の強い子に育ててほしいと考え、これまで 30 年以上に亘り約 18,000 冊の蔵書をほぼ全て自費で購入し運営しています。また、この文庫の特色は、子どもと身近に接することで、その子の好きな物・こと・読む力を把握し、本を多く読むよりしっかり読むよう導き、子どもの自主性を尊重しつつ、一人ひとりにあった本を選んでいることです。年会費は一人 1,000 円で、現在幼児から高校生までの 100 名弱の会員がいますが、会員に対しては、貸出冊数制限はなく、クリスマスにはプレゼントとして、一人ひとりに合った本を贈呈しています。そのため、運営上、ゆとりのある財務体制とは言い難い状況です。以上のことから図書充実の必要性、有効性は高く、運営体制も十分に認められるので、キワニス文庫を贈呈致します。 以上

3. 社会公益賞 受賞 1 団体に、表彰状ならびに賞金 100 万円を贈呈  
キワニス文庫 受賞 3 団体に、児童生徒用図書各 23 万円 総額 69 万 5 千円相当を贈呈

#### 4. 受賞者ご挨拶

特定非営利活動法人 愛知こどもホスピスプロジェクト 代表理事 畑中 めぐみ様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました特定非営利活動法人 愛知こどもホ

スピスプロジェクト 代表理事の畑中めぐみと申します。この度は 第 55 回「社会公益賞」という大変輝かしい賞を頂けることとなり、心から感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

弊団体は活動開始から 1 年少しと活動を始めたばかりの団体です。しかし、昨年 10 月にこちらの名古屋キワニスクラブ様で卓話の機会を頂きましたり、企業様や一般の方から多くのご支援を頂きながら活動を進めることができましたり、小児緩和ケアの実践や普及啓発活動、そして人材育成事業などを進め、年間 40 以上の事業を行うことができました。さらに、1 年足らずの間に 1,000 人を超える方々とつながり、活動にご賛同いただいた寄附者は 300 人を超え、ボランティアさんものべ 200 人を超える方々と活動を進めることができました。私たちは、日本に 2 万いると言われる命にかかわる重い病気や障がいのあるこどもとその兄弟、家族に、小児緩和ケアを実践する「こどもホスピス」を設立し運営することを目標に活動する団体です。病気だから、障がいがあるから、夢や希望を我慢するのが当たり前の人生を送るこども達。病気があってもなくても、治療法があってもなくても、残された人生が短くてもそうでなくても、その人生は祝福され、こどもとして、家族として「存分に生きる」ことができる。共に生きるこの地域の大人たちの責任で、応援していきたいと思えます。

今年度には、仮施設を、そして来年度には認定 NPO 法人格を取得し、更に社会的信用を得ながら、2026 年度に本施設開設を目指します。本施設開設のために、5 億円の資金を集めることを目標にしていますが、現在はその 1 割にも到達していない状況です。目の前には大きな山がそびえたっています。そんなこと実現できるのか、と笑われるかもしれません。

この「社会公益賞」を頂きましたことは、こどもホスピスの普及啓発においても、これまでこの地になかったこどもホスピスを社会に置いていただくためにも、その礎となると確信しています。地域の企業様や団体様、そして個人の皆様と共に、今この時も命と向き合っている、重い病気や障がいのあるこども達が「存分に生きることができる社会」の実現に向け、活動を進める所存です。名古屋キワニスクラブの皆様には、今後とも温かく見守って頂きますと大変ありがたいです。

最後になりますが、名古屋キワニスクラブ様の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げて、お礼の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

## 独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 病院長 後藤 百万様

独立行政法人 地域医療機能推進機構 JCHO 中京病院院長の後藤と申します。この度は社会公益賞・第 50 回キワニス文庫贈呈を賜り、誠に嬉しく光栄なものと存じます。当院小児科・小児循環器のスタッフはもとより、当院全職員を代表して心より御礼申し上げます。

中京病院は昭和 22 年に開院して 77 年の歴史を有し、名古屋市南部及び知多半島を主な診療圏とする 661 床の高度急性期総合病院です。「私たちは患者さんの心に寄り添い、安全で質の高い医療を提供します」という病院理念のもとに、地域住民の皆様のニーズに応え、患者さんに寄り沿う医療、安心で質の高い医療、多彩で専門性の高い医療を提供し評価を頂いてまいりました。

小児診療に関しては、小児疾患全般に加え、専門性の高い医療を提供しています。小児腎疾患では他病院から難治疾患を受入れ、144 例の小児腎移植も行ってまいりました。また、小児ハートセンターでは、小児心疾患のカテーテル治療や、愛知県内の約半数の先天性心疾患の手術治療を行っています。当院で治療を受ける子どもたちのために、今回頂いた図書を、感謝をもって活用させていただきたいと思えます。

来年 12 月には救急医療・高度急性期医療施設を集約化した新棟が開院いたします。さらに機能を強化し、職員一人一人が心のこもった医療を提供し、プロフェッショナルとしての技術を磨き、皆様のお役にたてるよう一致団結して頑張ってまいります。本日は、誠にありがとうございました。

## 名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院 病院長 葛谷 雅文様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました名鉄病院 病院長の葛谷と申します。このたびは、第 50 回キワニス文庫の図書贈呈先に当院小児科をお選びいただき、誠にありがとうございます。

名鉄病院は 2026 年度に病院開設 70 周年を迎えますが、これまで長きにわたり地域に根差し、地域から信頼される病院を目指して運営してまいりました。病床数 373 床の中規模病院ではありますが、名古屋市西区の唯一の急性期病院として、年間 5 千台を超える救急車の受入れを行い、24 時間 365 日地域の医療ニーズに応えるべく診療に向き合っています。

小児科においても、新生児から思春期までの小児疾患全般に対応し、小児病棟からの様々な電車が行き交う眺めは当院の大きな特徴でもあります。入院生活に不安な患者さんが安心して治療に専念いただけるよう、職員一同様々な工夫を凝らしながら患者さんと向き合っていますが、今回ご支援いただく図書も必ずやその一助となるものと確信しています。

このたびの名古屋キワニスクラブ様からのご厚情に対し、改めて御礼申し上げますと共に、今回のご支援を励みに今後もより一層地域に貢献できるよう、職員一同努力してまいります。

最後になりますが、名古屋キワニスクラブ様のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、贈呈式の御礼のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

## どんぐり文庫 古川 よし子様

私は犬山の地に住んでおります、どんぐり文庫を主宰しております古川よし子と申します。この度は私たちどんぐり文庫にこのように沢山の本を御贈呈していただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

犬山の地で開室して丸 32 年になります。高い理念と強い信念を持って発足したのですがその道程はなかなか険しいものでございました。やはり今までそういうものがなかったところであるということ、理想通りにはいきませんでした。その狭間を一生懸命探りながら今日までやってまいりました。

本を沢山持っております。でも蔵書が良いということで私ども売っているものですが、その蔵書をどのように子どもたちに手渡すかということが、私どもが一番大切にしていることとございます。今子どもが何を求めているのか、どんなことが知りたいのかということ、常に頭に置いて一人一人の子どもに手渡ししていきっております。でもその選書をするのは大変難しいこととございまして、何の本でもいいということではありません。只今は幅の広い、浅い、芯のしっかり整っていない本が非常に多くなっております。その本の中で芯のしっかりした本をどうやって子どもに手渡すかということを私どもは一生懸命勉強しております。子どもたちにも満足してもらえるような本、それは表面だけでは駄目でどうすることが子どもの心の中に残るのかということ、一生懸命模索しながら本を手渡ししていきたいと思っております。それは私ども手渡すほうの勉強と努力にあると思っております。

この度は、キワニスクラブ様から自分たちで本を選んでも良いとおっしゃられた時には仲間と本当に喜びました。嬉しく思いました。このように心広く言っていただけることは稀で本当にありがたいと思っております。これからも地域の子どもの文化の向上に貢献しながら進んでいきたいと思っております。しかし私はもう 80 になりました。だからこれから 10 年は頑張れないかと思っておりますが、それでも後継者を育てて続けられるように努力をいたしたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。

## ☆会務報告

- ・ 国際キワニス日本地区年次総会鹿児島大会の本申込みのご案内をお送り致しました。仮申込みされていない方で参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

- ・ 令和7年度の会員名簿アンケートのご回答につきましては、締切を過ぎました。まだご回答頂いていない方は、ご確認の上、至急ご回答下さいますようお願い致します。
- ・ 先日お送りしました令和6年度出席率中間報告の中で、※印が付いていて、出席率が100%未満の方は、各種のメーキャップを加えて頂くことで、精勤賞を受賞頂けます。一番簡単な使用済み切手によるメーキャップです。是非ご活用ください。メーキャップの締切りは7月31日です。
- ・ 来月8月9日(金)の例会は時間を変更して開催致します。開始時刻を15分早め、終了時刻を15分遅らせますので、12時15分～13時45分の開催となります。この日は一時間の講演を予定しております。ご注意くださいようお願い申し上げます。
- ・ 来週7月23日(火)に「新入会員の皆様との懇親会」を開催致します。確認書をお送りいたしました。お申し込み頂いて、確認書が届かない場合は事務局までご連絡をお願い申し上げます。
- ・ 次回のキワニスドールを作る会は7月26日(金)10時30分より名古屋マリオットアソシアホテル 17階楓の間で開催します。女性会員そして奥様方には是非ご出席くださいますようお願い致します。
- ・ 来週7月24日(水)に「祇園祭(後祭)例会」がございます。ご参加の皆様はどうぞよろしくお願ひいたします。
- ・ 7月24日(水)の音楽と観劇の会、宝塚歌劇 花組公演 ミュージカル『ドン・ジュアン』につきまして確認のためご案内します。場所は御園座で、開演時間は15時半です。ご参加の皆様はよろしくお願ひします。

#### ☆ハッピーボックス

浅野 幹雄 会員ーラッキー賞  
 稀代 太郎 会員ー子どものために  
 小林 宏之 会員ー社会公益賞おめでとうございます  
 松井 徹(テツ) 会員ー孫の誕生日  
 宮崎 雅博 会員ー麻雀大会優勝

◎次回例会 令和6年7月26日(金)◎

株式会社おとうふ工房いしかわ

代表取締役 石川 伸 氏

「たかが豆腐されど豆腐」

#### ♪申込み受付中の行事

##### ドールを作る会

日時：令和6年7月26日(金)10:30～

場所：名古屋マリオットアソシアホテル 17階 楓の間

締切はございません

##### 国際キワニス地区年次総会 鹿児島大会

日時：令和6年9月13日(金)

場所：城山ホテル鹿児島

締切【7/26】

##### 音楽と観劇の会 ～「芭蕉通夜舟」～

日時：令和6年11月24日(日)12:00開演

場所：ウインクあいち 大ホール

締切【7/19】

##### 第313回 ゴルフ会

日時：令和6年11月2日(土)9:00スタート

場所：中京ゴルフ倶楽部 石野コース

締切【10/11】